

奈良国立博物館視察報告書

誠の会

平成 29 年 6 月 30 日に誠の会 6 名で奈良国立博物館に視察に伺いましたのでその報告を致します。

奈良国立博物館概要

仏教美術を中心とした文化財の収集、保管、研究、展示を行うとともに、講演会や出版活動などを通じた普及活動を行うことが主たる活動内容です。

展示施設は本館、本館付属棟、東新館、西新館、地下回廊があり、このうち本館は、赤坂離宮などを手がけた宮廷建築家・片山東熊氏の設計により明治 27 年竣工したもので、明治期の洋風建築の代表例として重要文化財に指定されています。

建物は 1895 年、帝国奈良博物館として開館した。1972 年には新館が完成し、正倉院展は新館で開催されるようになる。また、本館と新館は地下道で結ばれるようになる。1997 年には東新館が完成し、従来の新館は西新館と改称する。両新館は統一デザインを採用し景観の調和を図っている。これに伴い新館側の入口が両新館の間に新設されたエントランスホールに変更され、本館を結ぶ地下道も新たに作られた「地下回廊」に変更され、ミュージアムショップや軽食ラウンジ、トイレなどを備えた無料ゾーンとなっている。2010 年には本館が展示室をリニューアルして新たに「なら仏像館」として再オープンした。なお、両新館は 2 階のみが展示室となっている。

所感

奈良国立博物館は周辺に寺社があり回遊性が担保をされている。担保はされているがどのように呼び込むのかという工夫は無料スペースを作るなどして工夫をしている。

建物が歴史を感じさせるので面白いが松本の博物館も年代を重ねるにつれ味を出せるようにしてほしい。

初めて入館したが通路がはっきりしていて順序良く回れたと思う。

国宝が展示されているので目を引くがそれに合わせてどれも展示の品物はしっくりくる作品だった。

リニューアルを繰り返しているがそのちぐはぐさもアンバランスで良い。

無料スペースを使い学生が勉学に励んでいた。

以上報告致します。

松本市議会議長

上條俊道 様